学校番号	122

平成31年度　　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史A	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	日本史Ａ　改訂版（山川出版社）						
副教材等	山川　詳詳日本史図録第７版（山川出版社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

江戸時代末期～現代の日本までを１年間で学習する。近現代の我が国の歴史を世界史に関連づけて理解し、現代の日本と世界における諸課題を体系的に理解ができるよう、様々な学習教材を活用して展開していく。暗記に偏らず、これからの国際社会において主体的に生きるために公正な歴史認識を身につけていけるよう一緒に学んでいきたい。

２　学習の到達目標

近現代における我が国の歴史の展開を学習し、現代の諸課題と関連していることを考察する。

国際社会の中で平和で民主的な国家・社会を形成するひとりとしての自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	歴史的事項に興味・関心を持ち、自ら調べ、学習する態度を持っている。	近現代の歴史の展開から、現代の諸課題をみつけ、国際社会と関連づけて考察できる。	資料や情報を収集、活用し、ノート作成や発言等に生かすことができる。	我が国の近現代史を中心に、基本的な事柄を理解している。
評価方法	学習状況を、授業中の態度や発言、課題、ノート提出など総合的に評価し、かつ５回の定期考査をもって、判断する。			

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学 期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元(題材)の評価規準	評価方法
1	近世社会の動揺と開国と明治維新　近代への胎動	・明治維新の背景 ・明治維新 ・対外関係の変革と内乱の終結 ・自由民権運動	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:近代国家の成立過程について、人物や史料にふれて、関心を養う b:近代国家の構造やその過程を、体系的に理解し、表現できる c:史料を活用する力を身につけている d:近代国家の形成過程を理解している	定期考査 ノート 発表
2	第一次世界大戦　産業化の推進　近代国家の発展	・憲法の制定と議会開設 ・条約改正問題 ・日清日露戦争 ・産業革命 ・第一次世界大戦	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ 	a:近代国家の展開について、史料にふれて、関心を養う b:世界の中の日本について、体系的に理解し、表現できる c:史料、歴史地図を活用する力を身につけている d:近代国家の特徴と、民衆の動きを理解している	定期考査 ノート 発表
3	現代の世界と日本　第二次世界大戦	・昭和恐慌 ・第二次世界大戦 ・戦後民主主義 ・55年体制	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	a:近代から現代からの転換を、時事的なものも含め関心を持つ b:戦前、戦中、戦後の日本の変遷を体系的に理解し、表現できる c:新聞や雑誌を中心に、史料を分析する力を身につけている d:戦前と戦後の国家の違いを理解している	定期考査 ノート レポート 発表

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現　c:資料活用の技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。